

編集後記

投稿規定改訂：論文の文字数の変更

本誌は、投稿される論文の内容および形式等について投稿規定を定めて運用していますが、今回、投稿規定改訂により論文の文字数に変更されました。詳しくは本誌または協会のHPに掲載されている投稿規定をご覧ください。

これまで、論文の文字数は原著、総説、症例報告、調査報告は本文（和文要旨、英文要旨、文献を含む）と図表を含め10,000字以内でしたが、今回の改訂により14,000字以内となりました。また、短報も6,000字以内から7,000字以内に変更されました。なお図表等については、これまで通りです（1個につき400字相当、8個以内）。この改訂の背景には、近年、研究デザインの精密化や多様化が進み、研究の内容を10,000字以内で伝えることに苦慮する論文が増えてきたことがあります。これは論文査読の過程をみますとよくわかります。確かに言語聴覚療法の経過や効果をPICO（Patient, Intervention, Comparison, Outcome）に則して報告するには14,000字程度が必要かと思います。また実験の研究や準実験の研究において仮説の設定と検証を論理的かつ追試可能なようにまとめるには、ある程度の文字数が必要です。さらに質的研究の成果をわかりやすく報告するには10,000字以内はやや少ないように感じます。このような状況を考慮して、今回、論文の文字数に変更されました。

図表等については、個数および相当する文字数に変更がないことに留意願います。これまでの投稿では、1個の表に2,000字以上の情報が詰め込まれていることや、検査シートをそのまま載せることなどがみられました。図表の作成においては、研究結果を最も効果的かつ簡潔に伝える工夫が必要です。また検査シートをそのまま掲載することは避けるべきであり、検査結果のプロフィール等を掲載する場合も著者と出版社から許諾を得る必要があります。今回の改訂により、皆様の投稿意欲がより刺激され、論文作成が進むことを期待したいと思います。

今号には、言語聴覚臨床における重要テーマを取り上げた総説2編「Hidden hearing loss」「発語失行/失構音の多様性とその診かた」が掲載されています。またシンポジウム「自動車運転再開の支援」の論文2編は、臨床で直面する問題について有用な情報を提供しています。さらに調査報告では、COVID-19が摂食嚥下障害や失語症がある人に及ぼした影響を詳しく調べています。いずれも本分野の臨床・研究を一歩先に進める興味深い論文であると思います。（藤田郁代）

■編集委員			
委員長			
藤田	郁	代	
副委員長			
立石	雅	子	
委員			
阿部	晶	子	
内田	信	也	
石坂	郁	代	
稲本	陽	子	
勝木	準		
菅野	倫	子	
倉内	紀	子	
倉智	雅	子	
佐藤	睦	子	
椎名	英	貴	
中村	光	一	
長谷川	賢	由	
原田	浩	紀	
原田	則	美	
春原	則	子	
平島	ユイ	子	
深浦	順	一	
福岡	達	之	
藤原	加	奈	
水田	秀	子	
矢守	麻	奈	
■英文要旨の校閲			
Gordon BATESON			
勝木	準		

言語聴覚研究（第20巻第2号）2023年6月15日発行[年4回（3、6、9、12月）15日発行]

Japanese Journal of Speech, Language, and Hearing Research

1部定価：2,200円（本体2,000円＋税10%）

2023年年間購読料：8,250円（4冊、税込、送料販売会社負担）

編集・発行：一般社団法人日本言語聴覚士協会（会長：深浦順一）

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-29 アクロポリス東京9階

☎03-6280-7628 FAX03-6280-7629 <https://www.jaslht.or.jp/>

Published by Japanese Association of Speech-Language-Hearing Therapists (JAS), Acropolis

Tokyo 9F, 6-29 Shinogawamachi, Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0814, Japan

©2023, Printed in Japan

制作・販売：(株)医学書院（代表：金原 俊） <https://www.igaku-shoin.co.jp/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

販売・PR部 ☎03-3817-5650 FAX03-3815-7804

印刷所 (株)真興社

広告取扱 (株)文京メディカル ☎03-3817-8036 FAX03-3817-8044